

大津神社・霜月祭

よの ぬくぬく まつり

氣づかなかつた真庭の
*たからもの*に
出会える日

山と山、人と人をつなぐ
キャラバンイベント

第12回



2023.12.3 sun.
10:00 ~ 16:00

会場：大津神社 (岡山県真庭市余野下 728)

お祭りの曲を作ろう！

音楽ワークショップ

展示

社地区・竹あかり
別所地区・醍醐桜灯籠

紙ひこうき飛ばし大会

もち投げ

のり
蜜の市

アマゴ串焼き
焼き餅コーナー

出張マンガ館
外遊びあれこれ

木工作体験

よのの写真展
「よののいいトコ、
よののココ。」

主催：余野下シェアハウスプロジェクトよすが

共催：やまびこマーケット実行委員会 / 真庭市

後援：真庭市交流定住センター

協力：霜月祭実行委員会



公益財團法人

福武教育文化振興財團



ぬくぬくスタイル

発行・イベントお問い合わせ
余野下シェアハウスプロジェクトよすが
やまびこマーケット実行委員会
0867-44-1031 (裏庭市交流定住センター)

「よのぬくぬくまつり」は、真庭市内でイベントキャラバンを行っている「やまびこマーケット」と共催でマルシェイベントを行います。本紙発行現在で出店が決まりしている屋台、企画は次の通りです。

Spice Bar 升 (勝山)、美樂庵 (美甘)、ポン菓子 ポンちゃん (建山)、玄米工房ななほしや (鏡野)【企画】イクエモンズファミリー (落合)、ふる

いち川マンガ館（湯原）、社地域振興協議会（湯原）、醍醐桜によるあかり実行委員会（猪口）、江南泰佐（勝山）、PhotoAtelier TSUMUGU 石原佑美（熊川）

※出店店舗名や内容は予告なく変更される場合があります。最新情報はやあらじマーケットの Instagram や Facebook でお知りください。

פְּתַח־יְהוָה כְּלֵי־מִזְבֵּחַ

【霜月祭】時代に合わせた行事として未来へ 【温故知新】



▶霜月祭恒例のもち投げ

津神社が余野の地に建立されてから約六八〇年もの間、続けられていた神事でした。大津神社は一三四九年（正平四年）に信州戸隠村、戸隠神社の分霊を勧請したとされていました。当時信州へ行った九名が、九名（くみょう）と呼ばれ、霜月祭はこの九名を中心に行われていました。九名の中から頭屋（とうや）が決められ、一年をかけて、自家の庭先で神様をお守りします。そして毎年旧暦十一月に、霜月祭（しもつきさい）は大津神社が余野の地に建立されてから約六八〇年もの間、続けられていた神事でした。大津神社は一三四九年（正平四年）に信州戸隠村、戸隠神社の分霊を勧請したとされていました。当時信州へ行った九名が、九名（くみょう）と呼ばれ、霜月祭はこの九名を中心に行われていました。九名の中から頭屋（とうや）が決められ、一年をかけて、自家の庭先で神様をお守りします。そして毎年旧暦十一月に、

霜月祭を地域の内外の人に広く知つてもらうためのきっかけづくりとして、今回マルシェイベント「よのぬくぬくまつり」を企画しました。

（余野下シェアハウスプロジェクトよすが代表 藤田亮太）

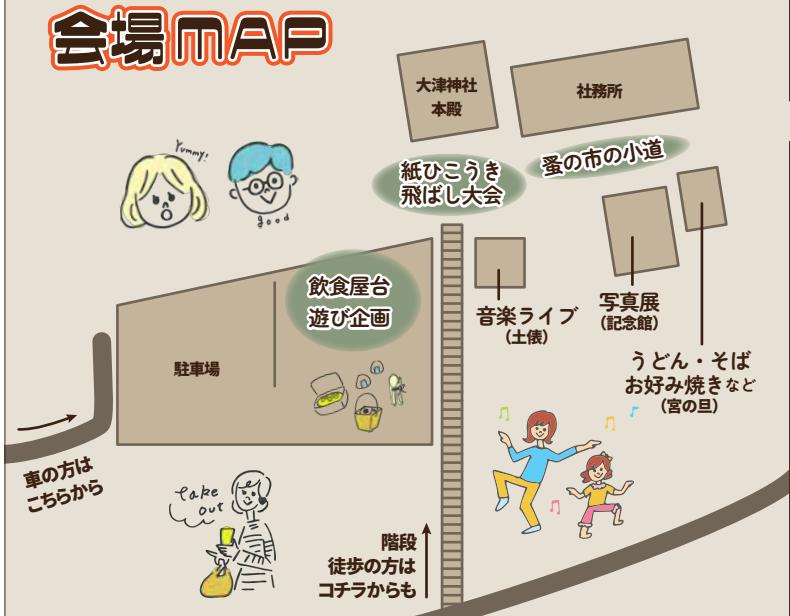
学校と連携して行っています。霜月祭が古きよき伝統文化を踏襲しつつ、現代に合った形で継続されることで、余野のアイデンティがさらに醸成され郷土を知るきっかけになると信じています。

具体的には、子どもたちに歴史・文化を伝えるため、神事につかうお餅の苗を手植えし、手刈りで収穫し、餅をついて奉納する。その一連の行事を余野小

一月八日に頭屋を交代する「頭屋渡しの儀」が大津神社拝殿でとり行われました。それが霜月祭です。この儀式は毎年脈々と行われていましたが、生活様式の変化や少子・高齢化に伴い、継続が困難になり二〇二〇年に九名は解散となりました。

しかし、歴史ある文化を後世に残すため、現代に合った形で祭を継続していくこうと、二〇二一年に霜月祭実行委員会を結成

会場MAP



イベントの詳しい情報は Instagram・Facebook にて発信中



紙面に載せられなかつた詳しい情報や最新の情報はやまびこマーケットのInstagram・Facebookにてお知らせします。ぜひこちらもチェックしてみてください。

近隣MAP



应用MAP



רְבָבָה אֲלֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל

卷之二十一